



発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部金44円
題字 井戸 知事

平成十九年春の叙勲

県下から消防功勞により十二名が受章

平成十九年春の叙勲が四月二十九日(昭和の日)に発令されました。消防関係の受章者は、全国で四六一名、うち兵庫県では、元消防団員十二名が榮譽に輝きました。



叙勲伝達式

火は見てる
あなたが離れる
その時を

受章された方々は、永年におたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、五月九日(水)十一時二〇分から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執り行われ、消防庁長官から各代表者に叙勲が伝達されました。

瑞宝中綬章	一名
瑞宝小綬章	十一名
旭日双光章	三名
瑞宝双光章	一一五名
瑞宝单光章	三三一名
計	四六一名

◎瑞宝单光章



元明石市消防団 分団長 大路 正光



元温泉町消防団 団長 西村 英作



元たつの市揖保川消防団 団長 嶋津 昌郎



元神戸市中央消防団 団長 小林 康郎



元香住町消防団 団長 川端 敏彦



◎瑞宝双光章
元朝来町消防団 団長 青田 幹男

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉



元今田町消防団 団長 酒井 勇



元高砂市消防団 分団長 阪口 武



元神戸市北消防団 副団長 芝山 昂



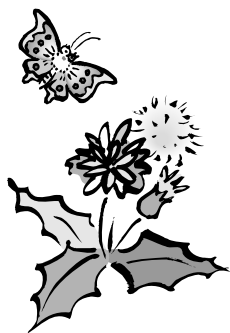
元関宮町消防団 団長 西谷 光生



元尼崎市消防団 分団長 水田 信繁



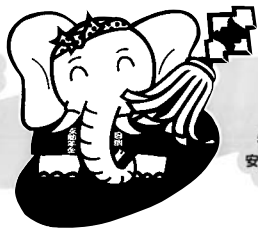
元赤穂市消防団 分団長 山根 信也



みんなで入ろう互助年金

消防互助年金

安全・確実・安心です!



老後の生活 安定のために!

【消防の仲間が支える互助年金】

人生80年時代!老後の準備は怠れません

消防関係者一人ひとりの老後を充実させます

- ・会議などの際に、お呼びいただければ(財)日本消防協会の職員が説明に伺います
- ・費用は無料ですし、些少ですが会議費を助成致します
- ・消防互助年金制度説明用ビデオの貸し出しをしております

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-6558-494



伝達式に出席された方々

「何事も和をもってあたる」

佐用町消防団
松田 芳夫 団長



佐用町消防団は、佐用郡四町（佐用町・上月町・南光町・三日月町）が合併したことにより、平成十八年四月一日をもって新たに新・佐用町消防団として出発しました。
団員は一、一七〇名を数え、五五分団、六九台の消防車両を有する大所帯となりますが、地

域性、効率性を考慮し旧町毎に支団長（専任副団長）を配し管轄エリアを分割しています。そして、四つの支団（佐用・上月・南光・三日月）を統率するのが、松田消防団長です。平成十八年八月二四日に就任後、永年災害現場で培われた経験と、その卓越した指導力により、消防団幹部、団員はもとより、地域住民にも「消防団長さん」と慕われています。

普段のお仕事は、農機具店を経営され、田植えや稲刈りのシーズンには町内各所を車で忙しく走っています。どんな故障でも直してしまふ、佐用町の農家の方にも大変心強い団長さんで、祭りの折には笛や太鼓の指導までされます。
カラオケも上手で甘いその歌声はかなりのものと自他ともに

わがまちの団長さん

143

「ふるさとを愛する団員づくりを目指して」

神河町消防団
藤原 泰彦 団長



平成十七年十一月七日に神崎郡神崎町と大河内町が合併し、ハートの形をかたどる町、「神河町」が誕生しました。

当町は、兵庫県のほぼ中央部に位置する人口約一三、五〇〇人の小さな町で、面積は約二〇二㎏、その八割を山林が占めています。
神河町消防団は、平成十八年

四月一日に発足し、藤原団長以下、副団長七名、団員七三七名、消防車両三四台をもって地域の安全・安心のため活動しています。
藤原団長は、昭和五六年に神崎町消防団に入団され、分団歴十七年を経て平成十二年から団長の補佐として副団長に抜擢。平成十六年四月に神崎町消防団長に就任、平成十八年四月に神河町消防団発足と同時に初代団長に就任されました。

合併前には、「これを機に退任し、後進に道を譲ろう」と考えておられました。新消防団を円滑にスタートさせるためには、様々な問題を解決する必要があったため、藤原団長に統投をお願いしたところ、責任感の強い団長は本音を内に秘め、神河町初代消防団長を快くお引き受けくださいました。
団長は以前から「地域から愛される消防団づくりが我々の責務」が口癖で、郷土愛の心が団員を育て、地域住民を育てるの精神を持ち、日々消防団活動に取り組みされている団長さんです。
最後になりましたが、昨年十月に兵庫県立広域防災センターで開催された第二〇回全国消防操法大会の小型ポンプの部に兵庫県代表として当町消防団の作畑分団が出場し、準優勝というすばらしい成績を収めることができました。
ご支援、ご声援をいただきました関係者の皆様と県下各消防団の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。

地区通信

「書写山消防大訓練」を実施！

姫路西消防団

姫路西消防団は昭和四四年に発足以来、分団の再編成を経て現在、団本部及び十六分団五四六人で組織され、消防ポンプ自動車十六台、小型動力ポンプ付積載車三台、小型動力ポンプ二台を配備し、JR姫路駅南から姫路バイパス以北の姫路市街地をはじめ、世界文化遺産国宝「姫路城」以西の九〇・一九㎏を管轄し、約六六、〇〇〇世帯、一六九、〇〇〇人の生命・身体・財産を守っています。
当消防団の火災業務、水防活動以外の主な活動としては、放火多発時や乾燥注意報発令時における警戒パトロール、水防訓

練、消防署との合同訓練の実施、年末火災特別警戒及び校区の避難所運営訓練における自主防災組織への訓練指導があります。また、消防操法大会と応急手当普及指導員講習を隔年で行っており、日夜地域防災のリーダーとして活躍しています。
中でも、消防訓練には特に力を注いで取り組んでおり、今年度も全国一斉に展開される「春季火災予防運動」の期間中の三月四日に「書写山円教寺」において姫路西消防署、書写山円教寺自衛消防隊、さらに姫路市書写山ロープウェイの職員が一体となって、実戦に即した山林火

災防ぎょ訓練を実施しました。今回の訓練場所である「書写山円教寺」は標高三七〇mに位置し、西の比叡山と称される西国二七番札所でもあり、樹齢数百年の木々の中に数々の重要文化財が眠る姫路の聖地であります。
また、最近ではハリウッド映画「ラストサムライ」のロケ地として有名になり、観光客も激増したおすすめのスポットです。
さて、そんな最高の舞台において消防大訓練が開始されました。ロープウェイ山上駅に集結し、約二〇分かけて訓練現場へ駆け足で移動、団員の士気も自然と高まり、林野火災防ぎょ体制をとるため、各担当部署に配置、活動開始です。
山上に装備されている砲水銃から大量放水を行う小隊、小型動力ポンプを防火水槽に水利部署し、水管を延長、さらに分岐

金具を介して遠距離送水体制による放水訓練を行う小隊、ジェットシューターを背負い、山林の細部まで進入して放水する小隊と、多種多様な戦術を駆使した実戦さながらの訓練を実施しました。
訓練終了後は、書写山に配備されている放水銃、防火水槽、小型動力ポンプなどの消防設備を一斉に点検し、山林火災防ぎょ体制に万全を期しました。
我々、姫路西消防団は先人から受け継いだ地域の誇れる文化財を火災から守るために、これからも日々、訓練を重ねていく所存であります。



書写山消防大訓練



訓練活動 I



訓練活動 II



実戦さながらの放水訓練

北から南から

『防犯啓発活動を実施』

丹波地区・丹波市消防団

丹波市消防団では春季全国火災予防運動の一環として、支団(旧町域)ごとに消防団車両にて

よる防火啓発パレードを実施し、また、地域に根ざした活動として消防団員が各家庭を戸別訪問



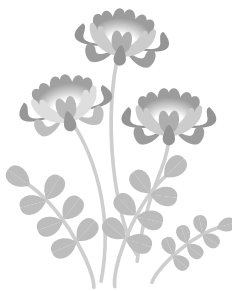
防災啓発グッズ配布による呼びかけ

し、「火の用心」ビラ配布と防火査察などを実施しました。

さらに、丹波市消防団には女性消防が一分団一部十五名組織されており、組織上の位置付けとしては、旧水上町域を管轄する氷上支団を管轄としていますが、平成十六年十一月の合併以降は、旧町域を越えた活動を積極的に展開しております。

今回の春季火災予防運動は、大型店舗入り口での防火啓発グッズの配布による呼びかけ運動を展開し、来店した方々も女性ならではのソフトな啓発ということ、防火の訴えに耳を傾けていただくことができました。

今後とも、強調週間だけでなく女性消防ならではの活動を積極的に展開し、「女性消防ここにあり」を市民の皆さんにアピールしていくこととしています。



相生市消防団

副団長 西田 清和



相生市は、風光明媚な瀬戸内海と西播磨丘陵地帯に囲まれた西播磨南部に位置し、一五分団、五二〇名の団員で、有事の際の

芦屋市消防団

団長 松浦 信行



地域防火防災活動に従事しています。

私は、昭和三十五年一月に相生市消防団に入団しました。当時は今日と違い、先輩の着古した団服(当然サイズは合いません)を分団役員が持参し、「今日からお前は消防団員だぞ」と、有無を言わず入団させられたのを今でも鮮明に記憶に残っております。

以来四七年を経過しましたが、毎年のように発生する市内南部での山林火災、そして台風等による海岸地域の風水害に出勤す

る際に、地域の安全と安心を守るという消防人としての使命と責任感、入団以来一度たりとも疎かにしたことはありません。

また、私は昭和五七年に相生市代表として西播磨消防操法大会に指揮者として出場しました。

当時は、現在と操法内容が大きく異なっていたこともありましたが、ホースが上手く延長出来ず深夜に自宅付近の道路で毎日練習したことも今となつては懐かしくもあり、その時に使用したホースは今も出場記念として大切に保管しております。

消防団今昔

60

芦屋市消防団は、昭和三二年九月、消防団令の公布により警防団組織を解消し、地域に密着した消防機関として一本団・四分団一二三名、消防ポンプ自動車四台で発足しました。

私が消防団に入団した当時は、年長者の方が多く年末特別火災警戒など各種行事が実施されるたびに、一番に詰所に向いて準備を行うなど、新人としての苦労が多かったことが思い出されます。

現在は、一〇五名の団員が定時訓練のほか、災害時の活動、自主防災組織等への訓練指導や市・県が主催する防災訓練等へも参加しています。また、平成八年には県内で三番目となる女性消防団員バーディーズを任用し、現在十一名の団員が防火広報やパネルシアターの上演を行なっています。

平成七年一月十七日に発生した阪神・淡路大震災で得た教訓を生かし、無線機の設置や消防救助資機材等を導入し、災害対



市民と共同しての避難訓練

応力の強化を図ってまいりました。今後、団員が丸となって住民の生命・身体・財産を守り、

安全で安心して暮らせる町づくりをめざし「備えよ常に」の精神で頑張りたいと思います



突如として発生する災害への対応は今も昔も変わりありません。消防団員として地域の人々の平穏な暮らしの一助のため、更に精進していく所存です。

地区通信

「安心安全のための消防団づくり」

南あわじ市消防団



街頭呼びかけ①



街頭呼びかけ②



うずしおマラソンでの広報

南あわじ市消防団では昨年十一月から女性消防団員の入団を募集し、最初一月に二名が入団してから徐々に増えて、平成十九年四月一日現在では十八名の入団を得、分団定数二〇名まであと二名となっております。年齢は二〇代から五〇代まで幅広い年齢層で構成され、職業も会社員、公務員など業種は様々で、愛称が「チームサザンクロス」です。

早速、イベントやショッピングセンターで広報活動を二回行っており、広報以外の活動として、児童生徒や独り暮らしの老人への防火指導、消防団行事開催時における運営補助などを行う予定であります。しかし、現在のところ消防に関する知識や経験がほとんどありませんので、

今年度、消防署や消防学校で開催される各種講習会を受講し、団員としての教養や技能を修得する計画となっております。また、既に県下の消防団で活躍されている女性消防団員から直接、体験等を聞かせてもらう視察研修も予定しております。

一方、男子消防団員は、五月十三日から四つの方面の予選会が始まり五月二十七日には市消防操法大会を開催致します。操法大会は例年七月・八月の開催ですが、今年は操法の変更がないことと、専業・兼業含めて農家の団員が多く、南あわじ市の特産である玉ねぎ(全国生産第一位)の収穫が六月に最盛期を迎えること、また、そのすぐ後に稲の苗を植えるこの時期が農家にとって一年間のうちで最も忙

しい時期であるため、ほぼその時期までに大会を終わらせたいとのことで、団員の過労を軽減し、訓練中の怪我等を防ぐということも考慮され日程が決定されました。

出場チームは、自動車ポンプ二〇チーム、小型ポンプ二六チームです。全国大会まであった昨年より一チーム多い参加となっております。

操法専用の練習場が二つありますが、それだけでは不足なため、照明・舗装・水利の条件をある程度満たした施設を利用させてもらい、現在優勝目指して日夜練習に励んでいます。

このように、男女団員ともども住民の安心安全のため充実した消防団づくりに邁進しています。

編集後記

新緑したたり吹く風も心地よい今日このごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では平成十九年春の叙勲について掲載しております。また消防団今昔には芦屋市消防団長松浦信行さん、相生市消防団副団長西田清和さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

なお、今年度の「兵庫消防」の編集は前任の森谷、市来、杉浦にかわり新しく谷、山本が担当となりました。よろしくお願いたします。

「兵庫消防」新担当者



山本



谷

兵庫県消防協会
ホームページアドレス

「こんにちは!ひょうごの消防団です」
<http://www.hyogoshoubou.jp/>



美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する
モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪生野区小鷺東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



ごみのない美しいまちへ
大好きなあなたに訪ねてほしいから

clean up



クリーンアップひょうごキャンペーン

期間：5月30日～7月31日

主催：クリーンキャンペーン推進協議会
(兵庫県 兵庫県5R生活推進会議)
(県内全市町 (財)ひょうご環境創造協会)

消防団服

甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽

乙種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三浦消防

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シバウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース



株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海356の1
TEL(0857)23-2211(代)
FAX(0857)27-1766